

東新住建株式会社
分譲事業でシンジケート団からの資金調達

東新住建株式会社
愛知県稲沢市高御堂一丁目3番18号
電話：0587-23-0011

東新住建株式会社（JASDAQ上場 コード番号：1754 本店：愛知県稲沢市 資本金：6億円 代表取締役社長：深川堅治）は、中部圏及び首都圏で年間1,000戸の分譲住宅、230棟の賃貸住宅及び注文住宅の販売実績があります。特に主力の中部圏の分譲戸建では愛知県で5年連続第1位、また、分譲事業（マンション除く）及び請負事業を含めた総合住宅部門では愛知県で6位、東海三県で第10位となっています。（出典：㈱マーケティングシステムズ）

この度、弊社は主力取引銀行であるUFJ銀行、中京銀行をアレンジャーとして下記の通り協調融資契約を締結いたしましたのでお知らせいたします。弊社は、資金調達の多様化と資金調達拡大を考慮し通常の融資に加え、SPC法に基づく不動産証券化商品の公募などで資金調達をしてきましたが、新たな資金調達方法の確立を目指しシンジケートローンに取り組んでまいりました。

今回の融資は、弊社が計画を進める岐阜市大字本荘における街づくりプロジェクトの事業への使用を目的としたものであります。

記

1. 当社は、当社を借入人とする下記内容のシンジケートローン契約について、3月16日に契約致しました。

シンジケートローンの内容

形式	タームローン方式（証書貸付）
協調融資総額	2,000百万円
期間	2.5年
アレンジャー	株式会社UFJ銀行・株式会社中京銀行
エージェント	株式会社UFJ銀行
参加銀行	株式会社UFJ銀行・株式会社中京銀行
契約日	平成16年3月16日
資金使途	岐阜市大字本荘における分譲住宅・分譲マンションPJの土地購入・建物建築資金

2. 資金使途の内容

岐阜市大字本荘におけるプロジェクトは平成15年3月3日に公表致しましたとおり、岐セン株式会社より譲受ける土地22,125.88㎡にマンション48戸、分譲戸建67戸、有料老人ホーム36戸、賃貸住宅15戸の合計166戸を建設する予定の街づくりを目指す総事業費30億円の複合型案件であります。この内、今回のシンジケート団からの資金調達はマンション・分譲戸建の事業計画に使用する為の資金であります。

(ご参考)

シンジケートローン

シンジケートローンとは、1行以上の金融機関がアレンジャーとして複数の金融機関の参加を募りシンジケート団(協調融資団)を組成し、同一の金銭消費貸借契約に基づき、複数の金融機関が同一借入人に対し、同一の貸付条件で行うものを言います。

アレンジャー

シンジケート団の幹事としてインフォメーションメモ(社債でいう目論見書)の作成、参加金融機関の募集・割当調整、統一融資契約書の作成・調整、融資実行までのその他の事務を行います。

エージェント

シンジケート団の代理人として、1行の金融機関が参加金融機関の窓口となり、融資実行後の借入人との元利金受け払い等の事務取りまとめ、決済情報等の参加金融機関への情報開示の手助けを行います。

この件に関するお問い合わせ先

東新住建株式会社 財務部 松井 社長室 瀬川

〒492-8628 愛知県稲沢市高御堂一丁目3番18号

TEL: 0587-23-0011(代表) FAX: 0587-23-0703